



中村 満雄 議員

小児救急診療体制の充実を求める

問 多くの議員が問題としているが、7年間進展していない。子供たちの命に関する問題である。医師会医療センターの小児科診療、小児科夜間救急診療の改善の方向性を問う。

答 小児科医の確保ができないことで、再開の目途はたっていない。診療再開は大きな課題である。委託先である医師会と十分協議していきたい。

問 鹿屋市、都城市で24時間の小児科診療が実現している。「検討している、努力している」では

答 市民は納得しない。大きな危機と感じている。1年でも半年でも、一ヶ月でも早く医師確保のために最大限の努力を約束する。

霧島永水のゴルフ場建設地の防災施設について

問 事業者は、防災施設の施工方法変更について県の許可を受けた。県は住民や霧島市への説明を拒否している。県に対し地域住民への説明を行うように市長自らが動くべきではないか

答 市民の不安を解消する努力をする。責任を持って対処する。

- 協定書について
- 情報開示基準について
- 選挙公報について



洪水直後の防災調整池と現状

市民のくらしを守る 市政の実現を求める



前川原 正人 議員

問 子ども医療費の中学校卒業までの無料化、敬老金の80歳以上から支給実施、年金生活者の介護保険料の負担軽減などは、市民生活のくらしを守る上で必要と考えるがどうか。

答 中学校卒業までの無料化は、今後の医療費の動向を見極め、消費税引き上げによる影響が大きいい低所得世帯への負担軽減など検討していきたい。

敬老祝金については、25年度で88歳578人、95歳162人、100歳以上105人に2114万円支給したが、祝金の支給対象の拡大は難しい。介護保険料は、保険料の負担軽減に努めていきたい。

耐震診断予算は 新年度に生かされるのか

問 市長のマニフェストでは、「大規模な病院、旅館、ホテルなどの耐震化支援」が掲げられ、「不安解消に取り組み」との決意を示された経過もあるが、新年度予算に生かされるのか。

答 25年3月末時点で、市内には耐震診断すべき建築物は19棟で、うち6棟は耐震診断を終了している。残りの13棟については、今後、県と連携をとり検討していく。

- 政治姿勢について



農業公社設立 見送りも視野



松元 深 議員

問 農業振興のために、農業公社設立の準備がなされてきたが、その取り組みと農業公社の役割、設立時期について問う。

答 平成25年4月に設立準備委員会を立ち上げ、法人形態及び定款、研修施設場所等の検討を行っている。役割は新規就農者研修事業、農地利用集積円滑化事業、農作業受委託事業を3つの柱としている。設立時期については、国が「農地中間管理機構」の整備を打ち出しており、農業公社への影響も懸念されるため、未定であり、場合によっては見送りを視野に入れている。

空港周辺の計画的整備を望む

問 鹿児島空港は、開港40年を過ぎて駐車場の整備等は進んでいるが、周辺整備については進んでいない。今後の取組について問う。

答 国や県などの関係機関と密に連携をとり、着実な整備を促進していく一方、「県営スーパーアリーナ」の鹿児島臨空団地への誘致を進めながら、西郷公園などの周辺施設も一体化した活性化策を検討する。



茶業振興を図れ



木野田 誠 議員

問 県内外はもちろんのこと、霧島市内における霧島茶の消費拡大をどのように考えるか。

答 全国茶品評会や各種品評会へ参加し、霧島茶の知名度アップをはじめ、大消費地の首都圏や関西圏で開催されるイベントや、特産品販売会に参加している。市内においては、空港内の観光PRブースでの試飲、「ななつ星in九州」の乗客に対するお茶の振る舞い、学校でお茶の淹れ方教室の開催、高校生と市内企業とのタイアップによる商品開発等を行っている。

問 日本緑茶は海外へ輸出拡大し、今後、更に拡大傾向にあるが、霧島市はどのように考えているか。



大消費地（神奈川県・広島県）での100円茶屋風景

答 霧島市と茶業振興会共催で輸出の現状に関する講演会、講習会を開催するなど、霧島茶の海外輸出に向けた取り組みを支援していく。

均衡ある霧島市のまちづくり整備に向けて



新橋 実 議員

問 東牧之原地区自治公民館から、第一要望として提出されている運動公園から東牧地区への道路整備計画の取組はどう考えているか。

答 旧福山町で「まちづくり交付金事業計画」において将来構想として取組んでいたが、整備出来なかった。この道路計画では地形的に大きな深い谷間があることや、多額の事業費が予想される。今後、財政状況や福山地区の道路整備状況を考慮しつつ、整備方法など様々な観点から検討していく。



まきばドーム（福山）

問 この施設は、多くの市民が利用しているが、冬場や霧・風等が強いときは競技に支障がある。壁の設置など対策は考えられないか。

答 平成24年に2万4997人利用している。夏場は風通しがいい反面、冬場は寒いといった声も寄せられている。今後簡易なシートの設置など何らかの対策が講じられないか検討していく。

- 地区公園施設整備について

新たな中心市街地活性化 ビジョンの構築を急げ



中村 正人 議員

問 本市の中心市街地へのハード・ソフト事業について、現状と今後の展望・取り組みを問う。また、霧島市全体の核となる新たな中心市街地活性化ビジョンを早急に検討・構築すべきではないか。

答 平成24年度から28年度までの計画で、平和通線や犬追馬場線の整備のほか、拠点地区内で規制のかかる区画道路の拡幅にも着手した。

商工会議所が実施する情報発信事業・空き店舗対策事業・TMO事業等に対する支援のほか、商店街活性化イベントなどに支援を行っている。まちづくり調整監を配置



引き続き整備（電線地中化）が待たれる国分中心部

し、商店街事業者や商工団体等と意見交換等に取り組んでいる。また、中心市街地の現状、商店街等に対する市民の評価やニーズを把握するため、国分中心市街地のマンション居住者を対象に、アンケートを実施し分析中である。今後は、地域住民のニーズ等も踏まえ、意見交換等を実施し、本市における中心市街地の活性化を図るための計画策定を進めていく。

- 公園等の防犯上の管理方法について